

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 僧帽弁閉鎖不全症に対する僧帽弁形成術の有用性に関する多施設共同研究

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 浅野満 (心臓血管外科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：実施承認後～2023年12月31日

目的:本研究の主目的は重度虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対する僧帽弁置換術と乳頭筋に介入した僧帽弁形成術の臨床成績を後方視的に比較検討することです。

方法:本研究は後方視的研究であり、既存情報によって目的の内容を検討します。

■ 対象となる患者さん

2015年1月～2019年12月に当院で行われた16歳以上の重症IMR(重度虚血性僧帽弁閉鎖不全症)に対して、待機的に僧帽弁形成術あるいは僧帽弁置換術治療を受けられた方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料:なし

情報:年齢、性別、治療の結果(手術後合併症、再手術率など)、術前・術後・直近の心エコーデータ

■ 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理しますが、研究対象者の特定の個人を識別できる情報は、他の研究機関などと共有しません。

■ 研究組織

研究代表者: 國原孝 東京慈恵会医科大学 心臓外科 主任教授

研究分担者: 荒井裕国 東京医科歯科大学 心臓血管外科 教授

松宮護郎 千葉大学 心臓血管外科 教授

高梨秀一郎 川崎幸病院・榊原病院 心臓血管外科 部長

夜久均 京都府立大学 心臓血管外科 教授

小宮達彦 倉敷中央病院 心臓血管外科 部長

佐田文宏 中央大学 保健センター医療管理者

若狭哲 北海道大学 循環器・呼吸器外科 教授

尾辻豊 産業医科大学学長 第2内科学 教授

上嶋徳久 心臓血管研究所附属病院 循環器内科 心不全担当部長

種村正 心臓血管研究所附属病院 臨床検査室 技師長

本村昇 東邦大学 心臓血管外科学 教授

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

浅野満、心臓血管外科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971